

# お金のむこうに人がいる

— お金と財政問題の根本を考える —

責任ある積極財政を推進する議員連盟

3/23/2022

元ゴールドマンサックス証券金利トレーダー

「お金のむこうに人がいる」著者

田内学

お金の  
むこう  
に  
人がいる

「経済のため」って、  
誰のため？

田内学

元ゴールドマン・サックス  
金利トレーダーが書いた  
予備知識のいらない経済新入門

小島武仁 (経済学者・東京大学教授)  
自分で経済を考えられる本です。

川邊健太郎 (Zホールディングス株式会社代表取締役社長・Co-CEO)  
新しい資本主義を考えるヒントがここにある。

ダイヤモンド社

# 国が借金を増やすと経済は破綻する？

2010年 ギリシャ危機

- GDPの1.3倍の債務残高を抱えるギリシャ国債が暴落
  - 当時の日本の債務残高は、GDPの2倍を超えていた
- 経済評論家「日本も数年後には財政破綻する」



日本経済が未だに破綻していないのはなぜ??

「お金とは何か」を根本から考える必要がある

Q 「和同開珎」が普及したのはなぜ？

8世紀初期、日本で最初に流通した貨幣「和同開珎」  
流通させるために政府が行った政策は次のうちどれ？

A 金と交換できるように義務付けた

B 税を貨幣で納めさせた

C 偽造を禁止しなかった

# 律令時代に普及していた銅銭「和同開珎」

- 国家プロジェクトに携わる労働者に銅銭が支払われていた
- 平城京の市では、米・布・銅銭で商品の購入ができた

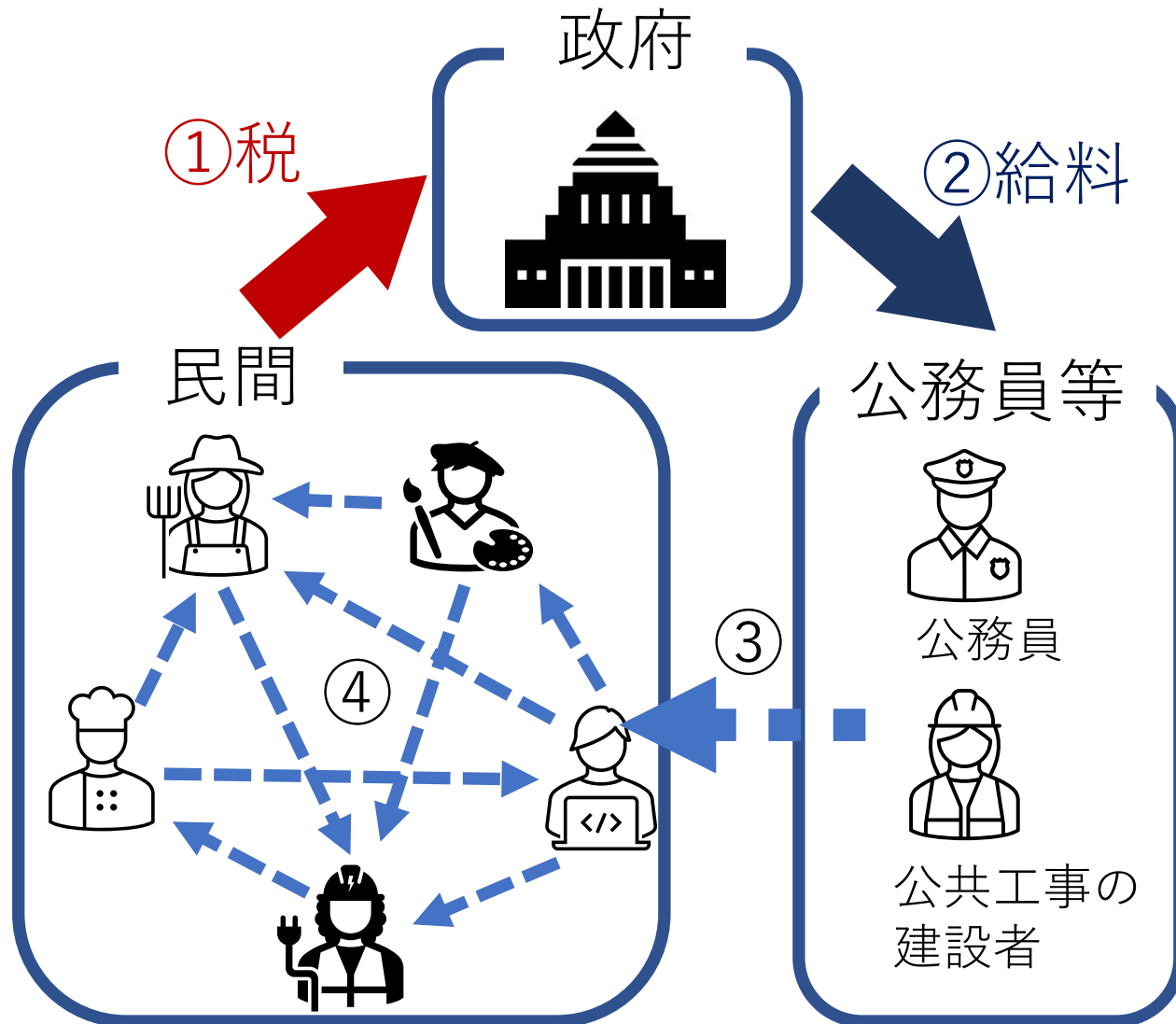


なぜ、米・布だけでなく、銅銭を欲しかったのか？

⇒銅銭が納税に必要

日銀ホームページより

# 税と給料によってお金が循環する



①税と②給料の導入

市場に任せる

③民間が公務員等のために働いてお金をもらう

④民間同士の決済にもお金が使われる

# 【思考実験】 家庭内通貨ジャパンの発行

- 子どもたち  
携帯電話ばかり触って、家事を手伝わない
- お父さん（中央銀行）  
紙に“1ジャパン”と書いて印鑑を押す  
これを100枚作る（紙幣）
- お母さん（政府）  
「100ジャパン借ります」と書いた借用書（国債）を  
お父さんに渡して、100ジャパンを受け取る

ある日、  
珍しく家事を手伝った子どもたちに3ジャパンずつ手渡す  
子どもたち「??????」

# 【思考実験（続き）】 徴税と給料

お母さんの宣言

「これからは、お父さんもお母さんも家事はしない」

「毎日3ジャパン支払わないと携帯電話を使わせない」

(強制力の伴う徴税)

「家事をすれば、給料をジャパンで支払う

ご飯の支度には5ジャパン、洗濯には3ジャパン、、」

(政府の給料)

この瞬間 ジャパン紙幣に価値が生まれる  
やがて、民間（子どもたち）の間に発生する経済活動でも  
ジャパン紙幣が決済に使われるようになる

# 子どもたちの負担

たとえば、大掃除（20ジャパン必要）の財源

- 増税をする（一人あたり、3ジャパン→8ジャパン）
- 国民からお金を借りる場合（国債の発行）



どちらの場合も、子どもたちが大掃除をする  
国債を発行しても、ラクできるわけではない



# 思考実験からわかること

- 財源によって、国民の負担（労働）は変わらない
- 国民がお金を貯めても、働く人がいなければ生活できない



お金とは「誰かに働いてもらうチケット」ではない

働く人の存在が重要

「誰に働いてもらうのか？」を軸に経済を捉え直す

# 年金

老後不安の

# 真実

老後資金が2000万円不足すると世論が沸騰したのは3年前。騒ぎは収まったが、公的年金を巡る状況は不透明感を増している。あなたの年金を守るために本当に必要なものは何か。識者による対談や改革案の検証、改革案に基づいた年金受給額の試算でその解を探っていく。

ダイヤモンド編集部編集委員・竹田孝洋

Seiya Tabuchi/Gettyimages

2019年6月に老後資金が2000万円不足するという金融庁の報告書が出されました。そのとき以降、お金をどうやってためようかと考える人が私の周りでも増えました。将来の不安があるからためようとするわけですが、みんな

佐藤 田内さんが言ったように、安は解決しません。少子化で、将来の労働が減ることによって増やすかということ。それが年金問題の本質とされています。少子高齢化に歯止めをかけて、労働力を増やして生産物を増やすことが大事です。結果として年金額を増やすことにもつながるはずですが、それが伝わるように本を書いたつもりです。同時に、官僚の人たちはそのことを分かって制度を作っているのかなと思っていました。で、官僚の人にも読んでもらいたいという気持ちで書きました。

**厚労省年金局数理課長×田内学氏対談**  
**年金問題の真の解決策とは**  
 佐藤 田内さんが年金問題の本質を非常に分かりやすく書いていた点に感銘を受けました。田内さんはどのようにして年金問題に関心を持ったのですか。  
 田内 ゴールドマン・サックスでお金を動かす仕事をしていました。が、いつもお金の本質とは何かを考えていました。お金がどんな問題でも解決してくれるのではなく、お金を使うことによって誰かが働く、誰かが問題を解決してくれるから効力を持つというところが本質にあると考えていました。  
 2019年6月に老後資金が2000万円不足するという金融庁の報告書が出されました。そのとき以降、お金をどうやってためようかと考える人が私の周りでも増えました。将来の不安があるからためようとするわけですが、みんな

## 【補足】年金問題 積立方式VS賦課方式

- 年金の積立を増やしておくことや、貯蓄を増やしておくことは、年金問題においては、根本的な解決策にならない
- London School of Economics ニコラス＝バー教授の論文

# 借金 = 将来のツケ？ (家の借金と国の借金の違い)

## 【家の借金】

例：ローンを組んで、自動車を購入する

「誰に働いてもらうのか？」⇒家の外の人働く

将来、家の外の人のために働いて、お金を稼いで返済する必要

## 【国の借金】

例：1500億円借金をして、国立競技場を建設

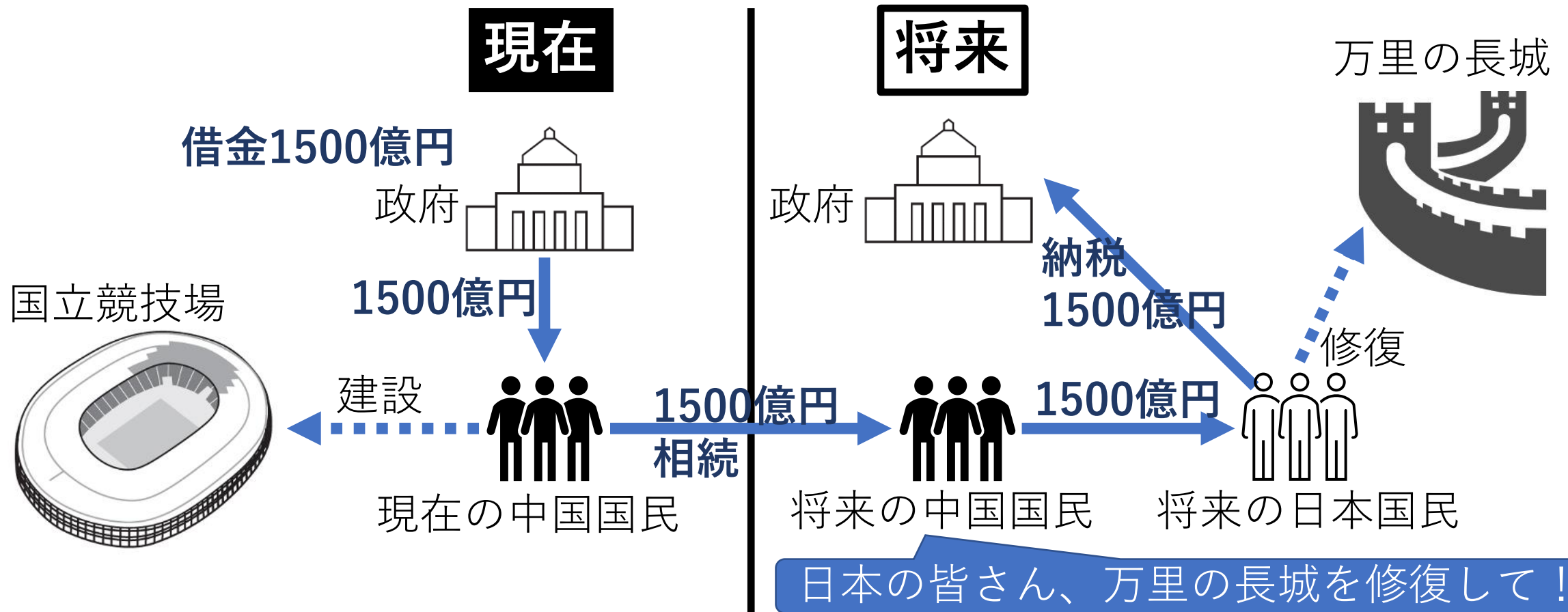
「誰に働いてもらうのか？」

①外国に働いてもらう場合

②自国民が働く場合

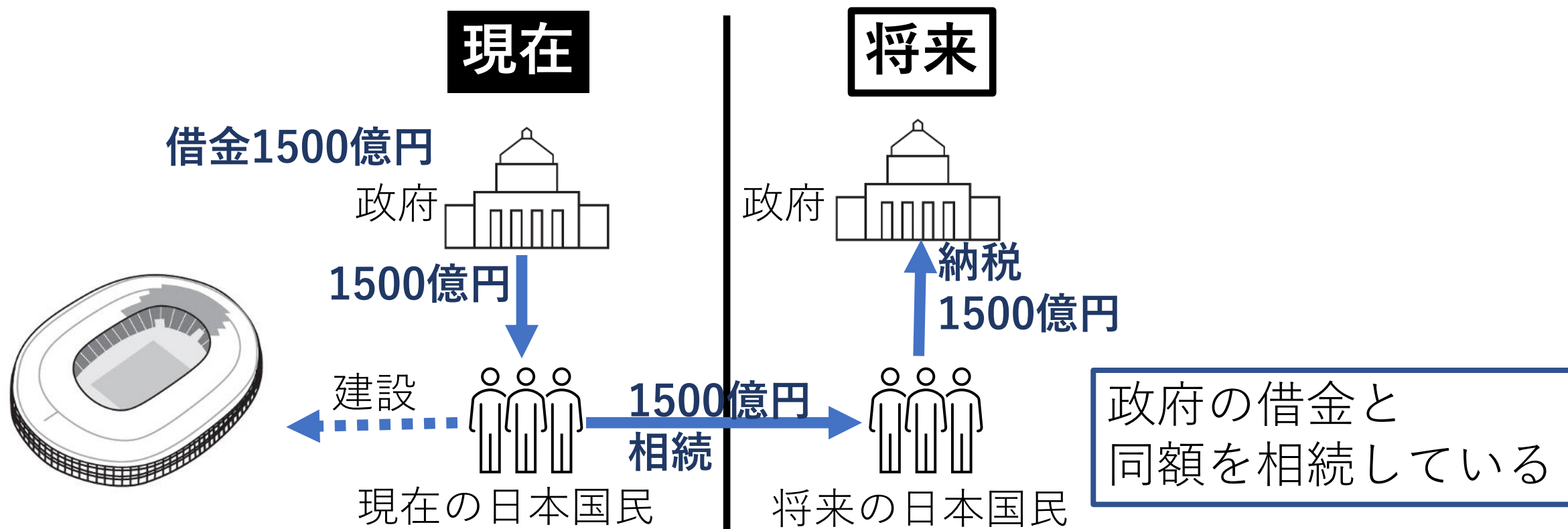
①と②で状況が異なるはず

# ①国立競技場を中国に作ってもらおうと、、、



将来の国民は、中国のために働く必要

## ②国立競技場を日本国民が作ると、、、



①の場合とは異なり、  
将来の国民は、余計に働いて返す必要はない

# 国立競技場建設による預金（借金）の変化

		財源は？			
		税金		国債	
誰が働くのか？	国内	政府 民間	円 円	政府 民間	円 円
	国外	政府 民間 国外	円 円 円	政府 民間 国外	円 円 円

# 国立競技場建設による預金（借金）の変化

		財源は？			
		税金		国債	
誰が働くのか？	国内	政府	0円	政府	円
		民間	0円	民間	円
	国外	政府	0円	政府	円
		民間	-1500億円	民間	円
		国外	+1500億円	国外	円

# 国債発行するときのお金の流れ



銀行のBS

資産	負債
現金3000億円	預金3000億円
現金1500億円	預金3000億円
国債1500億円	

①

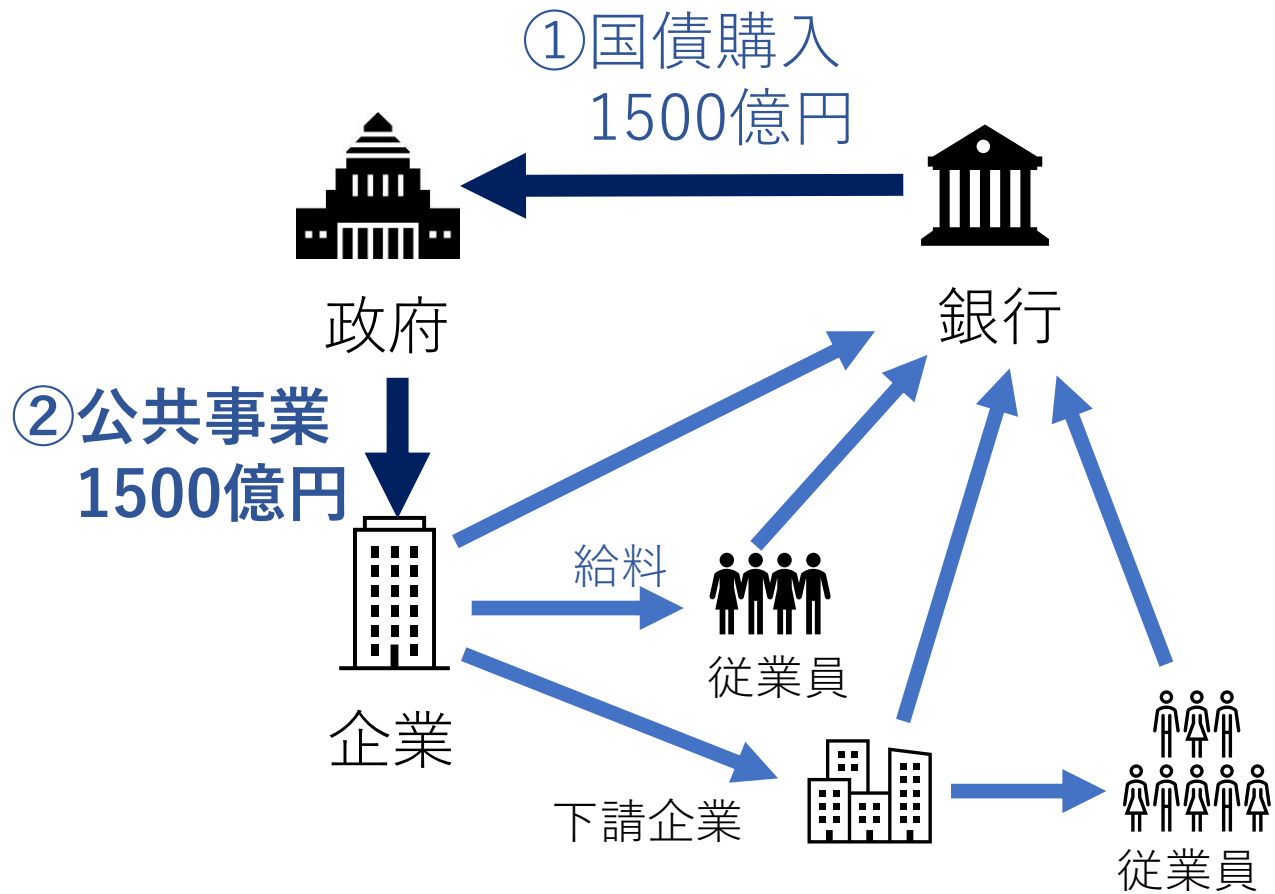
## 疑問

国債発行が増え続けると  
銀行の預金で支えられなくなる？

※実際には現金ではなく、  
日本銀行に持っている口座で決済される



# 国債発行するときのお金の流れ



銀行のBS

資産	負債
現金3000億円	預金3000億円
①	
現金1500億円 国債1500億円	預金3000億円
②	
現金3000億円 国債1500億円	預金4500億円

国債を購入したお金は戻ってくる

# 銀行が「貸すお金」と「預かるお金」は同時に膨らむ

## 金融機関（銀行・年金・保険）が貸しているお金

870兆円	500兆円	450兆円	
民間への貸出	日銀預け金	国債	その他

## 金融機関（銀行・年金・保険）が預かっているお金

960兆円	470兆円	540兆円	その他
預金(家計)	預金(企業など)	保険・年金	

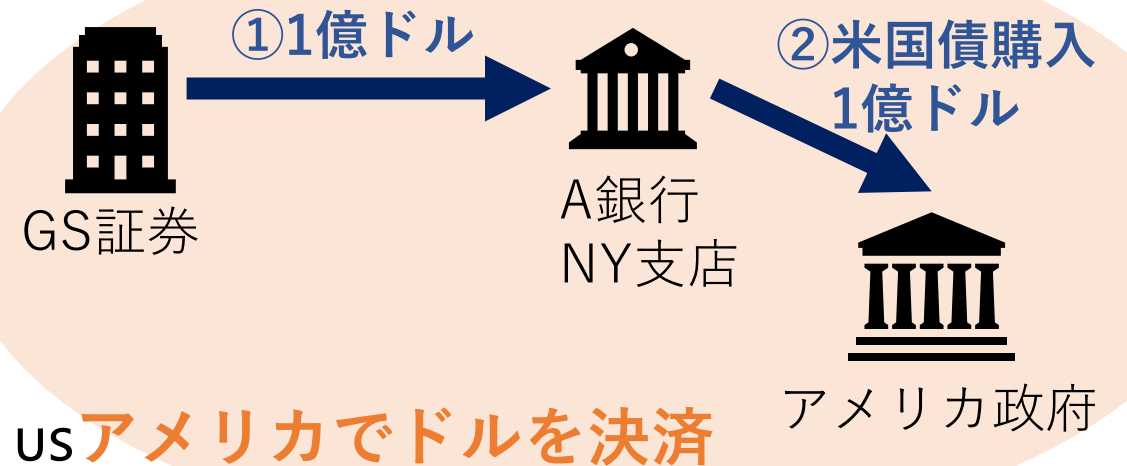
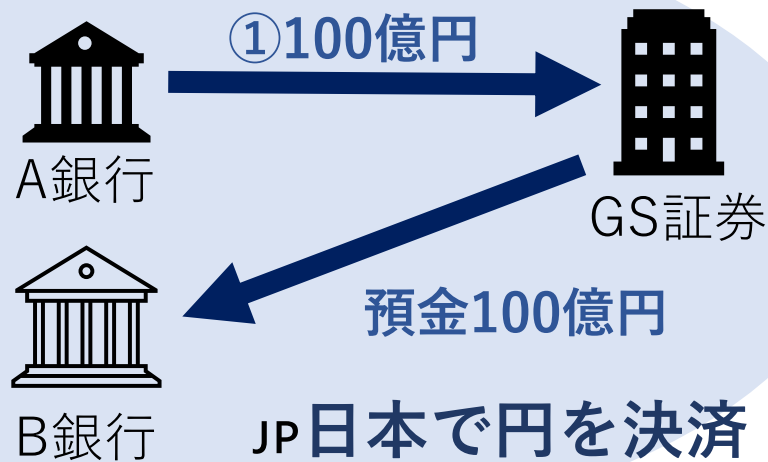
### 国債に関するよくある誤解

- × 「家計の預金が増えてないから国債発行は限界」 ⇒ 企業の預金が増える
- × 「預金で支えられないから日本銀行が買い始めた」 ⇒ 日銀預け金の存在
- × 「銀行が外債を買うと、日本国債を買えなくなる」 ⇒ 次のページ

# 銀行が米国債を買うときのお金の流れ

例：A銀行が米国債を100億円分購入

- ①GS証券との為替取引で100億円を1億ドルに両替
- ②米国債を1億ドル購入



100億円は別の日本の銀行に戻る⇒**全体の円預金は減らない**  
(※円安になる)

# 国立競技場建設による預金（借金）の変化

		財源は？			
		税金		国債	
誰が働くのか？	国内	政府	0円	政府	-1500億円
		民間	0円	民間	+1500億円
	国外	政府	0円	政府	-1500億円
		民間	-1500億円	民間	0円
		国外	+1500億円	国外	+1500億円

財源がどうであれ、国外の人々が円を保有する

# 国外の人々が保有する円はどこに行く？

## 現在

日本の銀行口座の中に入っている

⇒ 国債の購入や企業や個人への貸し出しに使われている

## 将来

① 国外の人々がその円を使うと、

⇒ 国内の生産力が国外のために使われる

② 外貨に替えると、

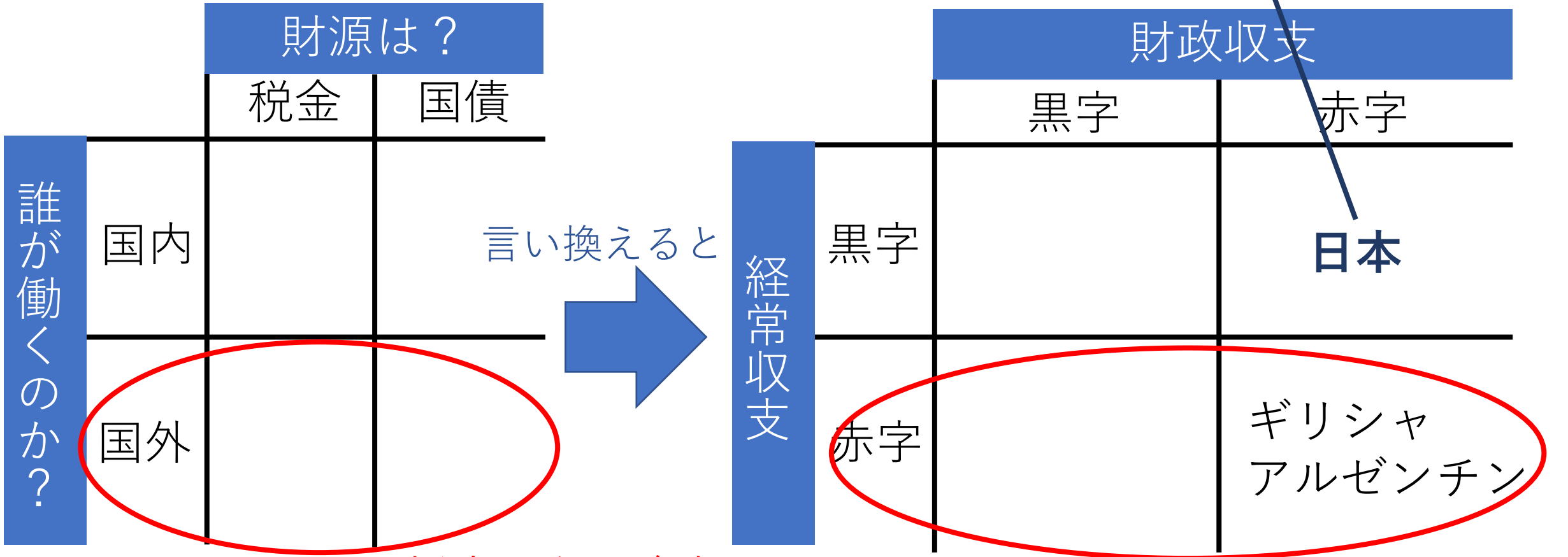
⇒ 円安になり、国内の購買力が低下する



将来世代の負担

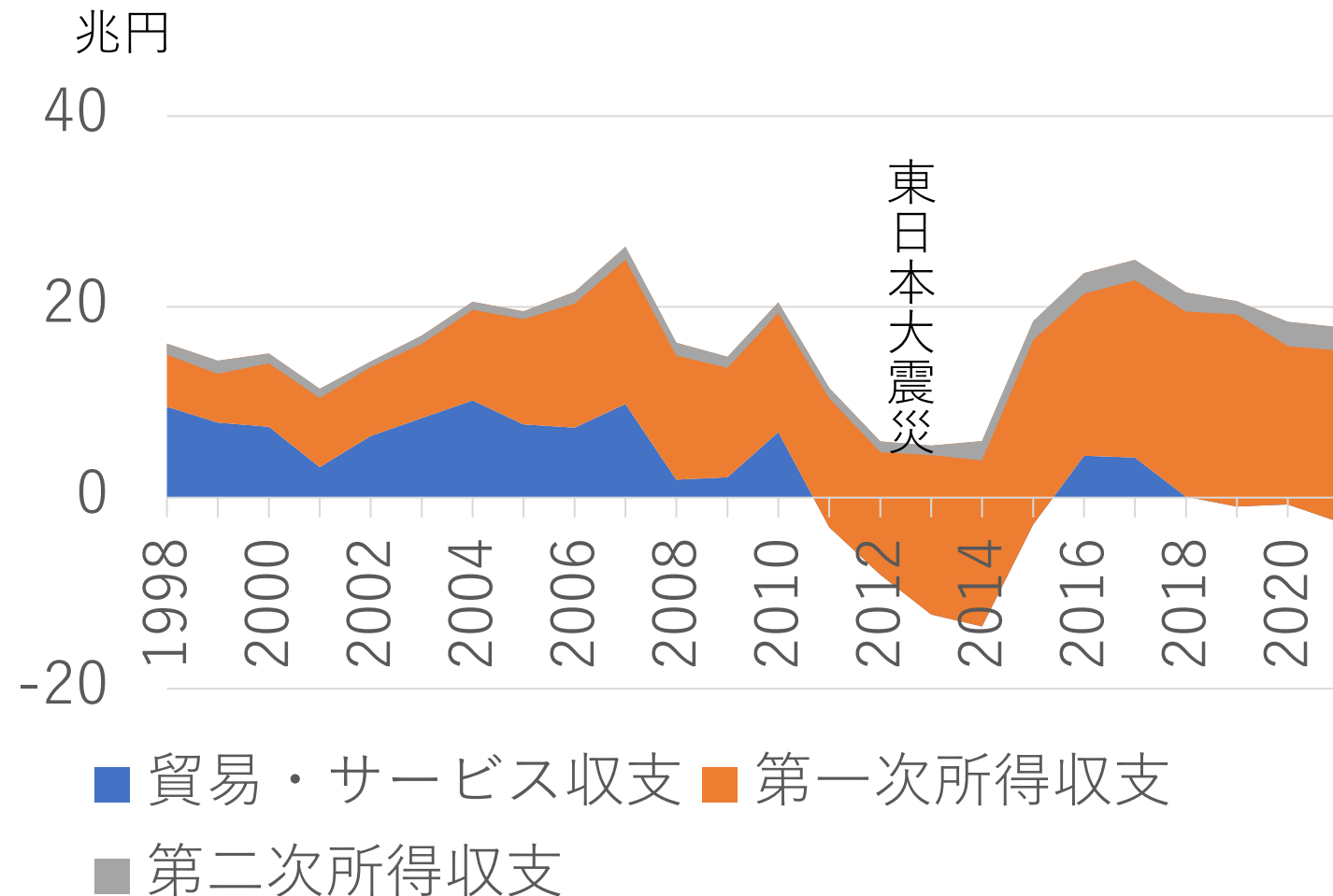
# 財政収支と経常収支

国内で十分生産できたから  
経済破綻しなかった



将来世代の負担  
行き過ぎると経済が破綻する可能性

# 日本の経常収支



- これまでの経常黒字によって対外純資産は350兆円相当

## しかし

- 貿易収支は赤字に転落
- 経常収支も2022年1月期は-1.2兆円に転落  
(季節調整後は+0.2兆円)

# 日本が直面している危機と対策（まとめ）

✓貿易赤字（経常黒字幅の縮小）

## 【対策】

- 輸出産業の育成
- エネルギーの確保

✓少子高齢化による生産力の低下

## 【対策】

- 少子化対策
- 労働力の有効利用
- 外貨の蓄積